



merry attic 取り組み紹介

2024.11.22



アジェンダ

1. 団体紹介、申請事業の概要
2. 事例紹介
3. 支援現場で工夫していること
(成功事例/失敗事例)
4. 行政や他団体との連携・協働



法人名

一般社団法人 merry attic(メリーアティック)
NPO法人 merry attic

設立

平成28年6月

基本理念

子どもに関わる社会課題への実践的挑戦の中で後進を育み、
次世代に託します

代表者

代表理事 上田馨一

所在地

埼玉県戸田市新曽 397 メゾンサファイア110

主な事業内容

放課後児童健全育成事業 / 放課後こども教室 / 障害者委託訓練
事業 / 子育て支援短期事業 / 次世代教員養成プログラム TEST / 子
ども食堂

従業員数

101名(2024年9月末時点)



子育て社会を、
頼れる空気感で
満たしていく。

児童虐待における仮説



01

虐待は、子育て疲れが深刻化した時に起こる

ひとり親、就労の不安定、社会的孤立、経済的困窮などの状況にある親にはリフレッシュするための時間的余裕がない。

02

一定期間のまとまった親子分離の期間が必要である

親の深刻な子育て疲れにより、養育機能は一時低下する。この養育機能の回復のためには、宿泊を伴ったショートステイに預けるなど、一定期間のまとまった親子分離の期間が必要である。

03

宿泊を含めた一時的な親子分離で、育児疲れが解消され、虐待の予防ができる

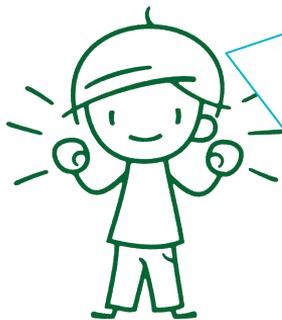
宿泊を含めた一時的な親子分離のために子どもを預けられる居場所を提供することで育児疲れの解消を図り、児童虐待の発生予防を行うことができる。

申請事業の事例紹介



～子どもショートステイとは～

提供サービス	宿泊を伴った子どものお預かり
利用可能な時間帯	土曜日の朝～日曜日の夜（1泊2日）
対象者 / 定員	小学生 / 1回最大6名まで
施設の雰囲気	一般的な一軒家で家庭的な居場所
イベント等	季節の行事や宿泊ならではのイベントも実施



仕事の繁忙期が続き、私自身のストレスがピークに達していました。ひとり親のため、普段は食事会には参加出来ませんが、初めて同僚といくことができました。私の苦勞を知る会社の同僚からも感謝の声が沢山ありました。また子どもと笑顔で向き合えます。

近くに頼れる親族などもなく、夫婦のどちらかが仕事が忙しい時期には必然的にワンオペ育児です。二人ともフルタイムで働いているので、仕事のストレスが子どもに向かってしまいそうでした。そんな時、少しでも自分の時間が取れたことで、とても助かりました。

merry atticの「独立型こどもショートステイ」とは



▼独立型こどもショートステイならではの特徴



提供する
支援サービス

宿泊を伴った子どもの預かり

施設の雰囲気

家庭的な居場所

利用可能な
時間帯

全日(夜間・祝日含む)

利用可能な
時間帯

多くの定員を確保でき、
柔軟な対応も可能





メリーアティックボンドの実績

2022年度における『メリーアティックボンド』の年間の延べ利用人数は1600人。
この人数は1つの自治体(30万人以上)全体のショートステイの年間平均利用人数の4倍にのぼる。



引用元からの作成

引用元:『三菱UFJリサーチ&コンサルティング,子どもとその保護者、家庭をとりまく環境に対する支援の実態等に関する調査研究報告書』. P28

リンク: <https://www.mhlw.go.jp/content/000942055.pdf>

支援ケースのご紹介



富山 清美[とみやま きよみ]

精神科の看護師を経て、専業主婦に専念。その後、大学へ社会人入学し、精神保健福祉士を取得。卒業後、夫婦で精神科医院を開業し、看護師として働く。2021年にmerry attic ボンドに参画し、2023年施設責任者を務める。



もくじ

- まえがき 01
- ① 好きな関係 05
- ② なぜうちの子なのか? せめておぼえておきたい 06
- ③ 何かを学ぶことでコントロールをしない 07
- ④ 何歳でもチャレンジ 08
- ⑤ 勇気づけ 09
- ⑥ 決めつけてはいけません 10
- ⑦ ルールと一緒に決める 11
- ⑧ 子どもの成長、日常の行動を促す 12
- ⑨ 様々な体験をチャンス 13
- ⑩ 感情を言葉にして伝える 14
- あとがき 15
- プロフィール 16



あなたは何歳、あなたにならなければ生きていけなかった
環境に人は生きられない、いろんな壁を乗り越えて
家族、友達、好きな人、嫌いな人、あつたが思いも
あなたに最高の幸せがやってくる、おめでとう、家族、友達、周り
にいい人、も、うまに生きていけるための壁の乗り越え...

子育てに関する研修資料 (著:富山)

～メリーアティックボンド事例紹介～
見えづらい性虐待の早期発見に
繋がった支援ケース

その他取り組み



01 お母さんへの支援

孤独を感じているお母さんが社会との接点を持てるようにする

雑談支援の実施
送迎支援の実施
施設改修



深刻な育児疲れについての不安を少しでも解消できるようにする

保護者研修の実施
職員研修の実施





02

子どもへの支援

若年層のシングルマザーに養育される子どもが学習や体験に対して不安を感じない状態にする

季節の行事やイベントの実施

子どもたちが体験格差を感じることをないように

学習支援の実施

学習の機会を継続的に確保する/習慣作り



わんどであわぶろづくり 製作時間 15分程度

カラフルな卵染めはんこを部分分けて、自分で好きな色をつくらうデザイン紙を用意する(おうちの冷蔵庫にあります！)

ミニチュアおかしパケツづくり 製作時間 10分程度

ミニチュアのおかしパケツに飾りつけをしよう！少し難しいチャレンジ！

おかし遊び★おなごきコマづくり 製作時間 20分程度

コマにペンでおなごきを書いて、自分だけのおもしろコマをつくろう！おなごきのコマが、おなごきで遊ぶことができます！

おなごきロケットづくり 製作時間 20分程度

パルーンのロケットに飾りをつけて、おなごきのおなごきロケットをつくろう！誰が一番高くまで飛ばせるかな？





03 質的調査

独立型子どもショートステイ等を通じて、宿泊を伴う親子分離や雑談支援が育児疲れの緩和に与える影響について、社会的認知が広がっていく状態にする

立命館大学と連携
アンケート調査の実施
インタビューの実施

子どもはぐくみ室とのやり取り
一時保護の子どもの保護解除

